（特非）　環境文明21

活動地域｜奈良、鳥取、佐渡、東京

気候変動を乗り越える地域社会づくりのための人材育成と政策提言活動

〒145-0071
東京都大田区田園調布2-24-23-301
電話：03-5483-8455
E-mail：konoe@kanbun.org
http://www.kanbun.org/

ひろげる助成
2年目
知識の提供・普及啓発

一般の方も交えてのシンポジウムの様子

政策提言作成の為のWS開催等	8回
延べ参加人員	110人
今年度計画の達成度	90%
活動の全体目標に対する達成度	70%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

奈良では、一年目は学生や自治体職員の参加があったが、二年目は学生や自治体職員の参加が少なく、既に経験を積んだNPOが主体となったため目新しい提案が困難になった。

■工夫した点

鳥取での学生の提案を知らせたり、行政への提案ではなく首長や議会への提出であることを強調するなどして、そうした経験のない方に積極的に動いていただくよう働きかけた。

課題

さまざまな取組みにも関わらず、国内ではCO_2削減が進んでおらず、国民の関心や行動も低迷していることから、広い視野を持ち率先して行動できる人材の育成が急務である。

目標

持続可能な地域づくりに必要な価値観、広い視野と知恵を備え、実現に向けた政策を考え行動できる人材を複数育て、実際に具体的提案をまとめ自治体首長や議会に提案する。

活動内容と成果

奈良と鳥取で一年目に行ってきた持続可能な低炭素社会づくりに必要な講義とそれに係るWSを継続して行うとともに、一年目後半で共有した持続可能な低炭素地域の姿を実現するための政策作りを行った。奈良では再エネと交通という身近なテーマでCO2削減策を、鳥取では地元主産業である農業に係る化石燃料の削減と若者らしい地域活性化・雇用を目指す提案をまとめた。各々の提案は、奈良では市長と市議会に、鳥取では県知事と市長に手渡したが、特に鳥取では次世代を担う大学生にとって初めての経験で今後につながると期待している。

最終提案の内容について協議している様子

全助成期間の活動を振り返って

CO_2削減が進まない中、個人の頑張りだけでは目標達成は困難であり、それを後押しする政策が不可欠である。しかし一般市民が政策作りに関わることは日本では少なく、そうした経験を持つ市民も少ない。今回は成果が出にくいことは承知の上で、政策提言活動への助成申請をしたが、結果として、特に若者に「政策作りに自分たちも関われる」という経験を積んでもらったことは有意義だったと感じている。

鳥取県知事に提言提出。中央は地域振興部長

今後の展望

政策提言には時間と労力が必要なため、単発授業では困難だが、大学の研究室や高校生のクラブ活動などで、持続可能な地域づくりに係る政策作りの体験を組み込んでもらえるよう働きかけていきたい。またその前に、気候変動に関する知識が学校現場では不十分なため、教材開発やそれを活用した実践的な普及啓発活動も併せて行っていきたい。さらにそれらの活動も踏まえ、従来通り、政府に対しての政策提言活動は継続していく。